

まくせのやしろ
万九千社 立虫神社

社報



神戸の郷

第七四号 令和三年夏

「発行」六月吉日

代宮家 (錦田)

暑中お見舞い申し上げます。

平素はお宮の事にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

疫病ももう少しの辛抱と努力で峠を越えそうです。

一日も早く病に苦しむ方々が回復され、全ての人々に浦安の日々が戻りますようお願い申し上げます。

さて、梅雨が明ければやがて夏本番を迎えます。暑さ厳しき折、皆様どうぞお健やかな日々をお過ごし下さいます。

宮司謹白

今季の祭

立虫神社

夏祭り

この夏祭りは、稲をはじめとする農作物が日照や風水害、虫害にあうことなく、恙なく秋の収穫を迎えることができること、人々が伝染病や暑さによる病気や怪我にあうことなく健やかに穏やかな日々を暮らせるように神さまへ感謝と祈りのまごころを捧げるものです。

さらに諸産業が益々順調に発展するようにと、氏子一同お祈りを深めるお祭りです。

例年、小学生の合唱合奏、カラオケ大会など、賑やかな催し物もたくさんありますが、今年が悪しき疫病流行予防のため



神賑わいの諸行事は出来ることを選

びつつ、別紙により「神人和楽」：心朗らかにやりたいと思います。

こうした時節でありますからこそ、神さまに日頃の感謝をお伝えし、無病息災と疫病の退散を心を込めてお祈りしましょう。夏の夕暮れ、皆様お揃いでお参り下さい。

神さまと神社の側から言えば、縁あつて神立・千家に暮らす全ての人々が「氏子さん」です。どなたでも遠慮なくお参り下さいませ。

日時

七月二十五日(日)

一、本殿祭

午後三時より齋行

一、摂末社祭

午後五時より齋行

本殿祭、末社祭が夏祭りの中心です。御神前にお供え物をして神さまをおもてなしし、官司が祝詞を奏上します。

本殿祭は、氏子を代表して、総代の皆様に昇殿してもらいます。

末社祭は、境内を取り囲む本社ゆかりの四社を時計回りにそれぞれお祭りします。

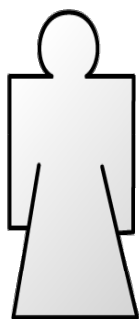
※末社当番の皆様は、五時から祭典できませんよう準備をお願いします。あわせまして、各社のお護り、氏子さんへの御神酒授与など、一夜のおもてなしをよろしく願います。

一、大祓

この日は、夏越しの大祓（旧暦六月三十日に近い日として）も行います。

人形に、半年のツミやケガレをうつしやり、神前に大祓詞を奏上し、それらを祓い去り、今後の無病息災、防魔鎮魂、疫病退散を祈念します。

※人形は、別途、御家庭（神社維持費家当金納入各戸）へお配りします。この紙で、身体を撫でこすり、息を吹きかけたうえ、氏名、年齢、性別を書いて、夏祭当日拝殿に用意した人形受け箱にお納め下さい。お焚き上げして祓います。



◎人形と引き換えに、**疫病退散 無病息災のお守り「茅の輪」**（無償）を各戸一体お受け下さい。

※平素、氏子の神社維持費家当金を未納の御家庭で、「大祓」の人形をご希望の方に、社務所で必要数をお授けします。遠慮なくお申し出下さい。

《あとがき》▼神社周辺の豊かな歴史的自然的景観と社叢風景を守るために、令和元年五月、万九千神社「令和の森づくり」基金を設立しました。▼その後、日本中の多くの皆様の御奉賛により、令和二年五月に第一期事業の神等去出広場、神宮遙拝所、駐車場整備工事が竣功しました。▼令和二年秋から本年五月には第二期主要事業の出雲大社遙拝所遷座改築、参道並木の再整備工事が竣功しました。去る五月四日みどりの日には、出雲市長様ほか御来賓の方々と共に、時節柄、総代ほか神社、工事関係者等の少人数により新参道の竣功奉告祭と清祓、通り初めを行いました。▼景観破壊という一大危機を令和の人の真心で乗り越えようとしています。ただただ感謝の気持ちで一杯です。誠にありがとうございます。（官司）からも「一所懸命」護持します。